

サンハート演劇祭について…

サンハートでは「演じること、表現すること」を通じて、人との繋がりを感じられるような演劇を目指し、横浜夢座の協力のもと、平成24年より当企画を開催しています。前年度までのワークショップ形式の演劇からレベルアップし、今年度は演劇祭として、皆様の前で演じさせていただきます。サンハート演劇祭で大切にしていることは、人の言葉を聴き、人に言葉を伝えるということ——すなわち「コミュニケーション」です。受講生は、年齢・性別もバラバラですが、互いについて考え、尊重し合うことで自分自身の表現力の幅を広げてきました。稽古の成果をどうぞお楽しみください。

阿部いかり
- 出立前の1人1人を見て
30分程度は色んな声を出して
5分程度はいい

サンハート演劇ワークショップ 講師



講師: 松井 工

劇団文学座所属。筆名松明日翔、俳優として舞台、テレビ・映画等幅広く活躍。主な出演作は、映画『8 1/2の女たち』、舞台『マリー・アントワネット』、『アマデウス』、『モンテクリスト伯』、『炎立つ』、NHK大河ドラマ『新撰組』など。横浜夢座公演第一回より参加。新国立劇場等の演劇講師、横浜夢座のセミナー講師として後進の指導も行う。来年は4月より帝国劇場をはじめ四大都市公演『東宝ミュージカル、エリザベート』に出演予定。



特別講師: 五大 路子

桐朋学園演劇科に学び、早稲田小劇場を経て新国劇へ。NHK朝のテレビ小説『いちばん星』でテレビの主演デビュー。退団後も多数のテレビや舞台に主演。横浜夢座を1997年に旗揚げ、横浜からの演劇発達を目標に活動を続ける。サンハートでは、旭区ゆかりの武将畠山重忠を題材とした詠み芝居「重忠と菊の前」を上演。

《今後の予定》

◆2020年3月6日「朗読劇・野毛武蔵屋」@関内ホール(小ホール)

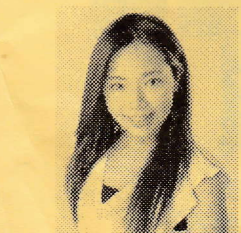
◆2020年5月29日～6月2日

「五大路子ひとり芝居 横浜ローザ 赤い靴の娼婦の伝説」@赤レンガ倉庫1号館ホール

◆2021年1月22日～1月28日

横浜夢座20周年事業 横浜夢座第15回公演

「歌ってよ、ムーンライト(仮)」@ランドマークホール



アシスタント: 伊藤 はるか

横浜夢座ワークショップ出身。『野毛武蔵屋～三杯屋の奇跡～』で初舞台を踏む。『ゴースト・ソルト・ダイブ』『奇跡の歌姫 渡辺はま子』『竜の落とし子ーリバイズー』(赤い靴の少女 母かよの物語)等舞台出演。